

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	総務部 秘書広報室	No.	1
事業名	秘書事務事業		
総合計画の 体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本政策	(3)	情報発信・共有
目的	町長及び副町長のスケジュール管理 町長交際費の適切な執行		
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・ 町長の日程調整及び管理事務・ 交際費及び慶弔事務・ 町長公文書・資料管理及び情報収集・ 来客・来賓応接		<ul style="list-style-type: none">・ 挨拶・礼状の作成・ 電報等、渉外事務・ 町長の資産公開事務・ 県郡町村会

<p>現在における経過又は課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町長への各種行事の出席依頼や、面会の依頼が多数寄せられる。 年度始めや終わり、また、季節によっては、土・日曜日や祝日など、休日に開催される行事のご案内が重なることが多々あり、時間配分など、スケジュールの調整に苦慮することがある。 毎年、同時期に開催される行事については、対応状況を記録するようにし、適切なスケジュール管理に努める。 近隣市町の対応を参考に、部長・課長等で対応可能なものについては 代理での出席を依頼していく。 ○ 町長交際費について、適正な執行に努める。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 最近の慶弔関係については家族葬が多くなり、香典や弔問辞退など、これまでと対応が変わってきている。 相手の意向に十分配慮し、適切な対応に努める。 ・ 児童・生徒さんからの表敬訪問を、沢山 いただくようになった。 訪問となった背景を把握するとともに、激励や お祝いなど、来庁者に配慮し、相応な対応をする。 ○ 「大口町後援名義使用許可申請」について、年々、多種多様な事業について申請が出されるようになった。 事業目的や対象者、事業効果など十分に内容を検討し、適切と判断したものについて許可するものとする。 ○ 町村会関係事務 令和元年6月より、町長が丹羽郡町村会長 及び、愛知県町村会長を務めることとなり、全国町村会や愛知県町村会の会議他、事業に加え、多数の関係機関や団体等から会議出席依頼を始め 様々なイベント開催案内を受けることとなった。 戴いた案内については、全て、愛知県町村会に内容を照会するようにし、内容や趣旨を町長に正しく伝えるとともに、前任者の首長さん方の対応を参考とし、町長とのスケジュールの調整に努める。
<p>令和2年度の目標又は改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町長への出席等依頼については、町長に出席をしていただくもの、町長以外の方でお願いができるものなど、担当部局に相談をかけて検討し、適切な対応とスケジュール管理に努める。 ○ 交際費については、対象となる項目について内容を十分精査し、過大な対応とならないよう努める。 ○ 弔慰に関するものについては、ご遺族等の想いに沿った対応となるよう、細心の配慮に努める。 ○ 愛知県町村会や全国町村会を始めとした会議・事業への出席依頼の他、多数の関係機関や団体等からの各種依頼については、町長に理解いただけるよう愛知県町村会を通じて出来る限り内容の把握に努め、丁寧な説明に心掛ける。

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4 ～	○ 各月 ・月末 翌月の町長スケジュール確認、公用車の予約手配
3	・15日前後 翌月の町長交際費の支出予定の確認及び伝票処理 ・月始め 前月の町長交際費の支出内容・支出額の確認及び伝票処理 ホームページ更新事務
	○ 4～5月 町長資産公開事務
	○ 随時 来客対応等、スケジュールの調整 交際費対応 後援名義許可申請・政策要望・アンケート等 への対応 公職者名簿の管理 電報等、渉外事務 一部事務組合との関係事務 愛知県町村会及び、丹羽郡町村会関係 事務

□3年間の目標

目標	:					
	:					
項目（単位）	H30 計画	H30 実績	R1 計画	R2 目標	R3 目標	R4 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R3 年度	・ ・
R4 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H30 年度 決算額	R1 年度 当初予算額	R2 年度計画額
事業費		千円	1,186	1,996	2,901
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.8	0.8	1.3
	臨時職員	人工	0.7	0.7	0
	計	人工	1.5	1.5	1.3

■令和2年度 計画特定財源内訳

(単位:千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■令和2年度 計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位:千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

【町長のスケジュール管理】

昨年に引き続き、町長が愛知県町村会長に就任されたことに伴う関係スケジュールが多数予定されていたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、テレビ会議や書面決議或いは、開催が中止となることが予想されたことから、変更の見落としがないよう十分に確認すると同時に、公用車の使用予定についても必ず確認し、変更が必要な際は、速やかに、行政課及び乗務員さんに連絡をとることとした。

【町長交際費の執行】

交際費の基準表に基づき適正な対応に努める。
基準表の対象となっていないケースであっても、相応と思われる場合が生じた際は、町長の意向や、これまでの対応を踏まえ対応を検討する。

評価

【町長のスケジュール管理】

常に、3ヵ月から4ヵ月先のスケジュール表を町長にお渡しすることで、各種予定を早くにお示しすることができ、スケジュールの調整を効率よく進めることができた。

新型コロナ感染拡大防止による会議等の開催変更については、担当部局と連絡を取り合い、誤りがないようスケジュール管理に努めた。

【町長交際費の執行】

交際費執行にあたっては基準表に基づき、対象者や対象事由に配慮し、適切な対応に努めた。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	総務部 秘書広報室	No.	2
事業名	儀式・表彰事務事業		
総合計画の 体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本政策	(3)	情報発信・共有
目的	大口町表彰条例に基づき表彰を行う。また、国又は県の栄典及び、各種表彰の対象となる方を推薦する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自治功労表彰事務 ・叙位叙勲内申及び、受賞関係事務 ・金婚表彰事務 ・一般表彰事務 		<ul style="list-style-type: none"> ・褒章関係事務 ・大口町表彰式 開催
現在における 経過又は課題	○ 栄典等の対象者に係る履歴のデータ管理		
平成31年度の 目標又は 改善策	○ 議会等の関係機関から資料を収集し、データを作成・管理する		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4 ～ 3	○ 潜在候補者の把握 各関係機関から 資料を収集・整理
	○ 県からの 各種表彰潜在候補者 照会への回答
7	各課宛て、大口町表彰条例に基づく表彰候補者の照会
9	金婚表彰対象者を広報誌で募集
10	大口町表彰審査委員会 開催
11	『大口町表彰式』 大口町社会福祉協議会との共催により 開催

□3年間の目標

目標	:					
	:					
項目（単位）	H30 計画	H30 実績	R1 計画	R2 目標	R3 目標	R4 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R3 年度	:
	:
R4 年度	:
	:

■事業コスト

		単位	H30 年度決算額	R1 年度当初予算額	R2 年度計画額
事業費		千円	129	780	906
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.2	0.2	0.4
	臨時職員	人工	0.3	0.3	0
	計	人工	0.5	0.5	0.4

■令和2年度 計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■令和2年度 計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

【叙勲の潜在候補者について】

議会・一部事務組合等の関係機関より関係資料を収集し、データを作成・管理する

【大口町表彰式での被表彰者について】

各課の所掌事務に関わりのある方や団体で、大口町表彰条例をはじめとした表彰基準等、要件を満たされている方について広く推薦を募る。

また、地域貢献や物品の寄贈等により広報紙で紹介させていただいた方々について所管課より推薦が出されていない場合は、確認をとり、申請漏れのないようにする。

■ 評価

【叙勲の潜在候補者について】

対象となられる方は高齢の方が多く、当時の資料の収集等に時間を要した。
今後も引き続き、資料の収集を進め、データ作成に取り組む。

【大口町表彰式での被表彰者について】

各課へ積極的に依頼をしたことにより、所管でしか把握できない個人や団体について多く申請してもらうことができた。

また、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、表彰式の会場を当初予定していた場所から変更し、密を防ぐため、3部に分けて開催するなど、感染防止対策とタイムスケジュールの調整に苦慮したが、職員の協力や共催者の大口町社会福祉協議会との幾度との打合せと準備の末、滞りなく式を進めることができた。

金婚表彰を受けられる方から、当日の進行について、数件、不安の声や お尋ねがあったが、式終了後に、ご指摘や、ご意見など寄せられることもなく、多くのご夫妻に出席いただけたことは 本当に良かったと感じた。

この経験を踏まえ、来年度以降についても、受賞いただく方々に安心して出席していただけるよう 感染防止対策を十分にとり 開催できるようにする。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	総務部 秘書広報室	No.	3
事業名	広報・広聴事業		
総合計画の体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本政策	3	情報発信・共有
目的	町の行政施策や行事、行政サービスなどの情報を、分かりやすい内容で住民の方々に届けるとともに、「元気なまちおおぐち」を積極的に情報発信する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報おおぐち編集及び発行 ・ まちのカレンダー編集及び発行 ・ 町ホームページ管理 		<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS・YouTube等を活用したデジタルコミュニティの創造と情報発信
現在における経過又は課題	<p>広報おおぐち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 折込チラシが増加しているため、チラシの見直し及び記事への移行の検討が必要であるため、折込をおこなっている課及び団体との打ち合わせ及び広報レイアウトの検討を始め、紙面での掲載となったものもあるが、引き続き調整が必要である。 ・ 広報紙は住民へ情報を発信する重要なツールであるため、特集の内容については住民に知ってもらいたい、また、住民が読みたくするような内容となるようにしていきたい。 <p>ホームページ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WEB上での情報はリアルタイムであり、インターネットが身近となっている中、ホームページも大切な情報ツールであるため、利用者にとってわかりやすく、見やすくなるように管理を心がけたい。 		
令和2年度の目標又は改善策	<p>広報おおぐち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度に完了しなかった、折込チラシの検討を引き続き行っていく。 ・ 特集の内容を、広報編集員や記事作成団体と調整し効果的な特集を目指す。 <p>ホームページ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種行事の予定を新着情報等を活用しわかりやすく掲載する。 ・ 目的とする情報を探しやすいように、タイトルを明確にする。 		

■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
4 ～	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報おおぐち 毎月：編集、校正 ・ 広報編集委員との打合せ：随時 ・ 町ホームページ管理運営：随時 ・ 動画配信：随時 ・ 動画配信に関する委託業者との打合せ：随時
4月	記録収集及び配信イベントを憩いの四季と計画
3月	次年度に向け各部局から情報収集

■事業コスト

		単位	H30 年度決算額	R1 年度当初予算額	R2 年度計画額
事業費		千円	12,300	13,978	17,454
（内特定財源）		千円	761	676	676
人工	職員	人工	0.7	0.7	1.3
	臨時職員	人工	0	0.1	0
	計	人工	0.7	0.8	1.3

■令和2年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金 額	備 考（充当先等）
ホームページバナー広告料収入	200	
ふるさと基金繰入金	476	動画配信事業協働委託料
合 計	676	

■令和2年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

項目（科目等）	計画額	増減額	内容
12-9-3 公開型 GIS 再構築業務	2,800	2,800	公開型 GIS 再構築、クラウド化
13-1-5 多言語翻訳システム	500	500	多国籍住民が情報を得られるよう、広報紙等を翻訳するためのシステムを導入する。

■特記事項

■目標又は改善策に対する取組内容

- 大口町在住の外国籍の方にも広報紙を閲覧していただけるよう、日本語を含む10言語対応の「カタログポケット」を導入する。

また、町政情報や、各種イベント情報、緊急速報など、必要な情報をより早く住民の皆さんにお届けするための広報ツールとして、幅広い年齢層の方に利用されているLINEやツイッターなどを始めとしたSNSの活用を積極的に進める。

- 広報紙については、引き続き折り込みチラシの枚数を少なくし、広報紙面への掲載切り替えを検討してもらうよう関係団体及び、担当者と調整を進めていく。

■評価

- 当初の予定より少し遅くなりましたが、「カタログポケット」を導入した。これにより、本町在住の外国籍の方を始め、全国から本町の情報を得ていただくことが出来るようになった。

この導入においては、当初、ソフトウェアの使用料で対応する予定でいたが、印刷業者との業務委託契約にしたことで、大幅に経費を減らすことができた。

また、今年度、LINEとツイッターの公式アカウントを取得・開設し、ホームページ掲載情報を始めとした町政関係情報を広く発信出来るようになった。

より多くの方にLINEや、SNS各種媒体の存在を知っていただくよう、広報誌を始め、庁内各所、巡回バス、柏森駅構内掲示板等にポスターを掲示するなどし、利用促進を図っていく。

- 折り込みチラシを広報紙面掲載に切り替える際には、紙面のスペースやレイアウトに工夫が必要となる。

必要な情報を分かりやすく伝えられるよう、担当部局と調整をし、切替えを進めていく。